

避難ってどんなこと？～ 転校、引っ越し、家族、友だち、、、～

【読んでみよう】原発事故で放射能の影響を受けた子どもたちの中には、その後、生活が大きく変わった子がたくさんいます。「原発事故を経験したおおぜいの人たち」のページを読んでから、モリタさん、カワダさん、ミズタさん、タニさん話を読んでみましょう。

モリタさん：友だちが帰って来るよ

ぼくのうちは、避難しませんでした。お母さんは避難したいって言ったんだけど、おじいちゃんが入院していて、難しかったです。

そうだ、今度、原発事故の後に、避難するために転校しちゃった友だちが帰って来るんだ。すごい久しぶりで、前みたいに普通に話せるかちょっとドキドキ。

避難するってどんな気持ちなんだろう？住んでたところのこと、前の学校のこと、聞いてもいいのかな？



カワダさん：これからどうなるのかな

わたしが住んでいた町は、原発から近くにあつて、国の指示で今でも住むことができません。

これまで、引っ越し3回、転校4回。いじめられたり、つらいこともたくさんあったけど、今の生活もやっと慣れてきました。でも、家族の生活はものすごく変わっちゃった。

お父さんもお母さんも口では言わないけど、ものすごく疲れてると思う。これから、どうなるのかな。時々、ものすごく不安になることがあるんだ。



ミズタさん：国の避難指示が終わるけど、、、

わたしの住んでいた町は、国の指示で避難を続けていましたが、来年、町に帰れることが決まりました。うちは帰ることにするみたい。お父さんから聞きました。

でも、周りの子どもで帰るのはわたしひとり。友だちや親せきは新しい土地に家を建てたり、今の生活にも慣れたからって帰らないんだって…。家族とはいっしょにいたいけど、友だちと離れるのはさびしい。それに、帰っても、本当に安全なのかな。



タニさん：自主避難を終わりにして、戻るんだ

ぼくは、事故が起こってから、お母さんと妹と自主避難しています。お父さんは、仕事があるので避難しないで、もとの家に住んでいます。

今度、ぼく達、前の町に帰ることになりました。お父さんといっしょに暮らせるのはうれしいけど、今の学校、楽しいし、友だちと別れるのは嫌だな。もとの学校の友だち、ぼくのこと、覚えてるかな？「なんで帰ってきたんだよ」とか言われたら、何て言えばいいだろう。

